

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.22) 2008.12.25

もくじ

活動報告

- 1 天津小学校 緑の教室 サポート
- 2 造林研修会聴講および今澄・自然観察
- 3 千葉演習林・秋の一般公開 サポート
- 4 猪ノ川林道ウォーキングガイド
- 5 クラフト作り、Abies 役員会および^{おっばら}追原の大カエデ見学

募集案内

- 1 シカ他大形哺乳類の生息数調査サポート（募集・予定）
- 2 今後の Abies 活動予定

天津小学校 緑の教室サポート

10月31日（金）に清澄管内で天津小学校の生徒を対象にした公開講座“緑の教室”が行われ、サポート役に岩崎、米倉さんと石川（輝）の3名が参加しました。天候は晴れの予想でしたが、曇り空で寒い1日でした。しかし雨が降る様なことはなく、予定通り無事に終了しました。

清澄宿舎の前で開校式が行なわれた後、次のプログラムを演習林の職員に導かれて順番に体験します。



丸太切り体験

1．森林観察＊木を倒す作業の見学 東漢森 今澄 荒檜沢地区をめぐる

2．森づくり＊清澄寺の千年杉の太さと高さの測定

＊毘沙門地区の実習地でコナラのドングリの種まき

＊ぶり縄による木登り体験

3．その他 ＊丸太切り体験（昼休み）

私たちの役割は岩崎さんが森林観察、米倉さんが木登り体験、石川（輝）がドングリの種まきの手伝いです。

例年のことですが子供たちが特に興味を持ったのは“ぶり縄”による木登り体験と昼休みに行った“丸太切り体験”です。いずれも共に参加したお父さんお母さんとの共同作業で親子のふれあいの場としても楽しいプログラムでした。

すべて終了した後、開校式を行った清澄宿舎前で閉校式が行われ、小学校代表のお礼の言葉をもって終了しました。

注) ぶり縄

ぶり縄（振り縄）は10mほどの長さの縄（シュロ縄）の両端に1本ずつ60cmほどの長さの木の棒を結びつけた木登り道具である。登る木の足がかかる程度の高さに木の棒の一端を縄で巻きつけ、そこまで登る。登れたら、綱を引いてもう一方の端の木の棒を持ち上げ、上の足場の位置に同様に木の棒を巻きつける。ここに登り下の足場の縄を振ってはずし、さらに上の足場を作る。これを交互に繰り返すことで木に登っていくことができる。

（記：石川 輝雄）



ドングリの種まき



ぶり縄による木登り

造林研修会聴講および今澄・自然観察会

11月20日(木)に造林研修会が行われ、米倉、恵、土橋さんと石川(輝)の4名が参加し聴講しました。造林研修会は、演習林の職員が各々携わっている学会、造林事業、奨励研究、基盤データ委員会、演習林課題など多岐にわたった内容を報告する場です。単に演習林の研究や活動内容を知るだけでなく、私たちがボランティア活動としてどのような形で協力できるかを考える有意義な研修会といえます。

今回の発表の中に郷台作業所の近くの“相ノ沢スギ栽培品種展示林の成長解析”の発表がありました。スギの各品種の前回の50年生と今回の78年生の成長度(樹高、胸高直径)の比較解析でしたが、前回に比べ、今回のほうが各スギの成長差が少なくなっているとのことでした。スギに早成型と晩成型があることも知りました。現地はかなりの傾斜地と思われる、測定・調査も大変と思われる。機会があれば調査に協力したいと思います。

今回は造林研修会が午前で終わったので、清澄宿舎で昼食のカレーライスを食べた後に、午後は今澄スギ老齢人工林まで自然観察をしながら歩くことにしました。快晴で歩くには絶好の日和です。

このコースは天津小学校の“緑の教室”の森林観察などにも使われていて清澄作業所に近く、歩く距離も短いながら、非常に中身の濃いところでした。

清澄宿舎の正門より道を横切り、少し坂を下がった先に駐車場の広場があります。その先が東漢森の土場(どば:材木置き場)です。

この隅に演習林発祥の地と刻まれた大きな石碑がありました。平成6年(1994年)に演習林創設100周年記念碑としてたてられたものですので、演習林は今年(2008年)で創設114年目ということがわかります。

向かって左側の急な歩道にとりつき、尾根筋の道を歩きます。足元にはヤブコウジやツルアリドオシの小さな赤い実を見ることができます。ヤブコウジの実はりんごを小さくしたような形、ツルアリドオシの実は2花のつきだした跡があって鉄腕アトムのような形です。まもなく郷台林道から今澄へ行く林道にぶつかるのでここを右折します。ここからはスギの人工林ですが、カンアオイ(花)を多くみることができます。

この先、道が突き当たりになると向かい側が“今澄老齢人工林”です。演習林創設以前の1859年(安政6年)に植栽されたとの



ツルアリドオシの赤い実

ことですので、149年生ということになります。

いつもはこの場所で引き返すのですが、ここではこのスギ林のすばらしさがわかりにくいのでさらに進み、道が細くなる場所まで行き引き返します。さらに進めば浅間山の下に出るはずなのですが、道が心細くなっているのと時間の関係で引き返しました。

林道を戻り、先ほど東漢森からあがってきた道の合流箇所で行進方向右側の歩道に入ります。

ここは荒檜沢のモミ・ツガ天然林の中です。ほどなく歩くと最後は急な下りとなり郷台林道に出ます。さらに郷台林道を先に進み、前に道が崩れて通行止めになっている場所までいきます。ここは右には演習林の中でも一番見事と思われるモミ・ツガ天然林で左は一面のスギ人工林で、その対比が楽しめます。途中、アカガシのどんぐりとその帽子(殻斗)がた



荒檜沢のモミ・ツガ天然林

くさん落ちていましたので、後日つくるクラフト用の材料として拾ってきました。このアカガシのどんぐりは大きめで見事です。

ここから清澄宿舎に戻り本日の観察は終了となりました。

このコースは比較的距離が短いながら演習林の良さを十分観察することができ、始点、終点が清澄でアプローチしやすいことより、演習林ガイドのお勧めコースと思いました。

(記：石川 輝雄)

千葉演習林・秋の一般公開サポート



秋の一般公開は11月22日(土)、23日(日)、24日(祝)、29日(土)、30日(日)の5日間にわたって行われました。今年は雨で繰り上げて終了したり、昼ごろから急に雨になる日があったりして必ずしも天候にめぐまれたとはいえませんでした。



受付でのミーティング

紅葉は見事で総計7,068名の方々が訪れました。

Abiesとしてはサポート役として累計16名、一日あたり4~8名が参加しました。雨や寒い日もありましたが、参加された皆様、お疲れさまでした。

サポート内容は今まで、
1.受付にての入場者のカウント、2.演習林案内地図の配布、3.演習林ガイドブック・ポストカード・カレンダー

の販売、4.利用者の誘導やマナー指導などを行っていましたが、今回は説明ガイドとマナー指導のみという形になっていて、始めて参加した会員については大分戸惑いがあったようです。今回も訪れる人の多い日には職員だけで対応するのは大変な様子で従来どおりに受付などの手伝いがあったても良いと思いました。説明ガイドをするためにはAbiesとして統一したマニュアルの必要性を感じました。

なお、11月29日には東京大学の教職員を対象にした演習林ガイドがおこなわれ28名の方が参加されました。これはAbiesの会員でもある相川さんが演習林 広報情報室主催で企画した特別ガイドです。人数が多いのでA班とB班に別れ、A班は広嶋先生と石川(輝)、B班は相川さんと岩崎さんが組んでガイドをしました。

当日、午前中は良い天気でしたが、昼ごろ急に天気が悪くなり夕立のような大雨となってしまう申し訳なかったです。代わりにその後はすばらしい二重の虹が見え、普段自然とあまり関わりのない仕事をしている教職員の方は、千葉演習林の自然の奥深さに感銘を受けたようです。

(記:石川 輝雄)



メタセコイア遠望

猪ノ川林道ウォーキングガイド

12月2日(火)に勝浦市教育委員会主催のウォーキングガイドの演習林ガイドを行いました。今回は長崎十字路から猪ノ川林道に入り郷台作業所で昼食、休憩後再び長崎十字路へ戻るコースです。

参加者数は勝浦市職員の3名を含め52名と多いので2班に分けて石川(輝)と岩崎さんで対応しました。

天気は、曇りの予想でしたが、あいにくの小雨混じりの寒い日となりました。

皆さんを乗せた大型バスは10時近くに到着しましたので長崎十字路で出迎えます。ここは狭いので先の折木沢駐車場の広場まで歩いてから挨拶、班分けをして歩きはじめました。

すぐの折木沢橋の周囲は紅葉が一番良い状態で、皆カメラで写真を撮ったり、眺めたりして足が止まります。雨に煙る中での紅葉も晴れている時とは違ってまた別の趣がありました。



折木沢ボート付近のもみじ

黒滝も普段と異なり川幅全部に水が流れていて、これもなかなか見られない景色で壮観でした。

一般公開日でなく、他のグループはいないので、ゆっくりと歩くことが出来て、説明も十分できました。このコースはほとんど平坦ですが最後の郷台宿舎の手前の坂は一汗かきます。郷台宿舎に上がって昼食



牛蒡沢のスギ美林を歩く

にします。雨で寒いので、室内で食事が出るのは助かります。食事をしているうち照明の蛍光灯がまたたき始めました。ソーラーバッテリーの電気切れのようであわてて照明を切ります。

食事の後に周囲の木々、苗畑、相ノ沢スギ栽培品種展示林、モウソウチク開花実験場、演習林の森の展望場(正式名は不明)などを

まわり解説しました。

普段、一般公開でも見られない特別な場所といったためかも知れませんが、皆さん熱心に説明を聞いていただきました。

郷台宿舎を出発し、途中牛蒡沢のスギの美林を見てから戻り、鍵をかけてある黒滝の所のゲートで人数確認をしてから今朝ほどの出発点の折木沢の駐車場に到着しました。ここで挨拶、質問などを受けてガイド終了となりました。

今日の案内コースは天候が悪くても比較的快適に行動することが出来、今後のガイドでも一番のおすすめのコースと思いました。

話によると今回のような行事は市政だよりなどで募集案内があるとすぐ定員になり非常に人気があるそうです。期待に沿えるよう努力をしたいと思います。

クラフト作り、Abies 役員会および 追原の大カエデ見学

1. クラフト作り（12月10日）

来年1月に行われる予定の公開講座“冬の森を歩こう”やその他の行事の参加者に記念のものをあげたいということでクラフトを作ることになりました。

参加者は岩崎、米倉、恵、土橋、片岡、近藤（禮）、中原さんと石川（輝）の8名と演習林の才木、根上さんです。材料は前回作った残りが十分あるのでこれを使います。

今回作ったものはムクロジ、アカガシ、マテバシイ、クヌギなどの実を組み合わせたストラップとナシの木の枝で作った鉛筆形のストラップで、合計約200セット作りました。アカガシ、マテバシイのドングリは、前は帽子（殻斗）なしのものがでしたが、今回は帽子付きとしましたので大分見栄えがよくなりました。



クラフト作りの様子



完成したクラフト

(注：どんぐりは殻斗の部分は枝に残り、ドングリ本体に着いては落ちません。従って今回のものは別々に拾ったものを適当に組み合わせ接着しました。ものによってバランスのおかしいものもできますが、これもご愛嬌です。)

目標の200セットは午前中で完成したので、午後は各自が持ち帰るものを自由な形で作りました。岩崎さんオリジナルの木の枝でつくった鳥も今回は3個となりました。最後に近藤さんのおいしいコーヒーを楽しんで3時に解散となりました。

引き続き相川さんも到着したので Abies 役員会になります。

2. Abies 役員会 (12月10日)

本年度の Abies 活動も最終に近くなったので、反省をふまえ、今後の活動について検討をしました。検討した項目は Abies の活動内容、ホームページ、Abies 通信、体験参加などです。また、来年の活動の中には他演習林(北海道)の見学、一般公開案内用マニュアルの作成およびそのデータ集めなどを盛り込みたいと考えました。なお、3月の総会の日程については年明けに開催する役員会で決めたいと思います。

3. 追原^{おっばら}の大力エデ見学 (12月11日)

翌日の11日は朝から快晴となりました。札郷宿舎に車を移動して追原にある大力エデを見学しました。追原地区は演習林の中ではなくて私有地で、昔は集落があったとのことですが、現在はなくなっているそうです。今日は岩崎、米倉、中原、近藤(禮)さんと石川(輝)の5名で出かけます。

札郷宿舎の入口付近から谷すじの歩道に入り、幾つか木の橋をわたって七里川の吊り橋の所にでます。ここはお月見研修でも歩いたおなじみの歩道であり、札郷宿舎の近くですが両側の壁がせまっていて深山に入った感じのするところです。

吊り橋のあたりは紅葉のきれいな所で良く観光ポスターの写真になるところですが、時期が遅く、紅葉はほとんど残っていませんでした。

吊り橋を渡り、今まで何回か下刈りやシカ柵の設置などをした川台の見本林を横に見ながら、二又に分かれる歩道を右上に進みます。すぐの坂を登りきって、少



七里川の吊り橋

し平らな所を右へ曲がり、スギの人工林を通過、農機具を保管したと思われる小屋の横をすぎ、幅は狭いのですが、深い小川の丸木橋をわたるとその先の窪地の先のスギ林の中に屋敷跡があり、そこに胸高直径 140 c m 位、樹高 10 メートルを超える大カエデがありました。樹齡？百年と思われる大カエデですごい迫力です。時期が遅いせいか、黄色い葉が一部分についているだけの状態でした。

また、近くにはこれもかなり太いきりの木が 2 本あります。周囲を回って観察してから、もときた道を歩き札郷宿舎へ戻り解散となりました。

(記：石川 輝雄)

シカ他大形哺乳類の生息数調査サポート (募集・予定)

千葉演習林内のそれぞれ割り当てられた区画の中を一定時間歩き、シカを始めとした動物を目撃した頭数から、動物の生息密度を調査します。この調査をサポートする参加者を募集します。参加者数に制限がありますので、参加希望者全員が希望に添えないこともあることを承知ください。

調査日は決定していますが、他の詳細計画は年明けに決まりますので、正式の募集案内は 1 月に行ないます。

日 時 平成 21 年 **2 月 5 日** (木) ~ **6 日** (金) (5 日夜宿泊)

集 合 清澄作業所 5 日 8:30

解 散 同 6 日 14:00 頃

内 容 5 日 [札郷] [清澄] 地区のシカ他の大形哺乳類の生息数調査
6 日 [郷台] 地区のシカ他の大形哺乳類の生息数調査

人 数 3 名 初参加者を優先します。

持 ち 物 時計、携帯電話、筆記用具、雨具、5 日昼の弁当、飲み物、防寒衣、懐中電灯 (予備電池)、会員証、リュック、登山靴などしっかりした靴、敷物、保険証、常備薬、宿泊用の持ち物など

宿泊場所 清澄学生宿舎

雨 天 時 小雨決行 悪天候の天気予報で中止する場合、前日参加者に連絡します。

そ の 他 ・ 区域によってはかなりハードですので、健康に注意し、体調を整えてご参加ください。初参加の場合はそれなりの配慮をします。

- ・ 野外調査での万一の事故に備え、申込時に緊急連絡先（連絡者氏名・、確実に連絡のとれる電話番号）を教えてください。
- ・ 災害保険用として参加者の氏名、生年月日、職業を演習林事務局に連絡することをご了承ください。参加決定者には詳細なスケジュールを送ります。
- ・ 参加には平成20年度の会員登録（会費振込）が必要です。

受付期間 ~2009年1月20日（火）

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれか、事務局 石川輝雄

今後の Abies 活動予定

内容決定しだい別途募集案内をします。

| 活 動 名 | 時 期 | 内 容 |
|-------------------------------|---------------------|-----------------------------|
| 2 月 度 Abies 定 期 活 動 | 2 月 下 旬 (1 泊 2 日) | 未 定 |
| 2 0 年 度 Abies 定 期 総 会 | 3 月 (1 泊 2 日) | 総 会、懇 親 会、歩 こう |
| 演 習 林 ガ イ ド (春 の 一 般 公 開 時) | 4 月 中 旬 か ら 下 旬 | ク ラ ブ ツ ー リ ズ ム (株) : 有 償 |

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.22 2008/12/25 発行

* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3 - 1 - 2 - 1 0 2

石川 輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321